


元木美奈子
入船4-37-14
355-8526
minamotonon@


井原めぐみ
東野2-8-13
353-4730
i_megumi@d8.dion.ne.jp


美勢 麻里
北栄2-3-16-203
354-9269
m5mise@jcom.home.ne.jp

後期高齢者医療制度 日本共産党、市独自の保険料軽減措置を要求

「導入できないかどうか調査はやぶさかでない」 市民経済部長

来々4月から導入予定の「後期高齢者医療制度」は、保険料の取立てを厳しくする一方、75歳以上という年齢で区切り、医療内容までも別立てにすることを狙っている制度です。

高額な保険料 問答無用の年金天引き

保険料はいくらになるのか、不安が広がっています。ところが、東京都広域連合が、厚労省の試算（7万4千円）を大幅に上回る試算を公表。広域連合間の格差調整の国の補助金ごとに保険料を想定したもので、その額は平均年額15万5千円から9万6千円にもなります。

保険料は、年金月額が1万5千円以上の場合、介護保険料とともに年金から天引き（特別徴収）、以下の場合は、納付通知書により窓口徴収（普通徴収）されますが、すでにこの方法を導入している介護保険では本市の場合、普通徴収で常時400から570名もの滞納者が発生しています。

保険料の払えない高齢者から 保険証の取り上げ

負担増で苦しむ高齢者にとって、高額な保険料は医療までも奪い取るものになりかねません。新制度では保険料を滞納した場合、保険証は取り上げられ、代わりに窓口で10割負担しなければならぬ「資格証明書」が交付されるからです。

これまで、障害者や被爆者と並んで高齢者への資格証明書の発行は禁止（国保法）されてきました。医療を奪われたら直ちに命にかかわるからです。医療なしでは生きていけない高齢者からの保険証取り上げは皆保険制度の崩壊そのものです。元木美奈子市議は9月議会で対象人数や保険料などを明らかに

することや早く市民に知らせよう求めましたが、人数把握は来年1月中旬、大まかな保険料などは11月の千葉県広域連合議会に示されると答えるに止まり広報などで知らせると答弁。

また元木美奈子市議は「市は厚労省の指導の枠を超えて国保でも介護保険でも保険者としての主体性を発揮してきた」と主張し、独自の保険料軽減措置を採るよう要求。市民経済部長は法解釈上、できない仕組みであると答えましたが、導入できないのかどうか、調査はやぶさかでない」と答弁。

日本共産党の提案 県広域連合への意見書 4対16で不口決

日本共産党は9月議会では保険者である千葉県広域連合が来々4月からの実施に向け、すでに動いているため、可能な限り住民要求をふまえた制度とするため質問し、さらに高齢者の生活実態に即した保険料にすること、資格証明書を発行しないこと、保険料と医療費の一部負担金を軽減するための措置を講ずることを求める意見書の提案を行いました。しかし、市議会は、提案者（元木美奈子議員）への質疑や討論もなしで無言のまま否決しました。

< 意見書に対する態度一覧 >

- 賛成：4名**
元木美奈子、井原めぐみ、みせ麻里（共産党）広瀬明子（無党派）
- 反対：16名**
高津和夫、田村耕作（公明党）辻田明、山崎次雄、深作勇、末益隆志、宝新、宮坂奈緒（きらり青山会）平野芳子、小泉芳雄、岡本善徳、西山幸男、鈴木家康、西川善純（政風会）折本ひとみ、堤昌也（明日のうらやす）

政府・与党が一部凍結を言い始めるほどの「後期高齢者医療制度」は実施の中止しかありません。請願署名にご協力下さい。

「後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願署名」にご協力下さい

街灯を設置して！

「反対側の歩道には街灯があるのにこちら側には街灯がない、なぜ？」「夜道が暗い、街灯をつけてほしい」というご要望をいただきました。

日本共産党は、現地に出向き調査をするとともに今月10日、市道路管理課に整備を要請しました。

若潮通りに沿った当該歩道は、千葉県が管理責任者となっていますが、県はこれ以上の照明は必要なしとの判断です。そのため市が負担して、反対側の歩道には総合公園までの間に46本の電柱を利用した街灯を設置してきました。しかし、要望のあった場所には、街灯がありません。



今川橋から新浦安駅前 バイク駐輪場までの歩道

道路管理課は「電柱を利用できれば整備しやすいが、照度を調査して設置基準を満たすのかどうかを調査します。基準内であれば設置します。」と回答しました。